

九州電力、ゼロカーボン・エネルギーのまち共創に向け始動

# 上峰町と九電グループによるゼロカーボン社会の共創

佐賀県上峰町と九州電力グループの連携協定



カーボンニュートラルをけん引する  
"EVのまち上峰町"

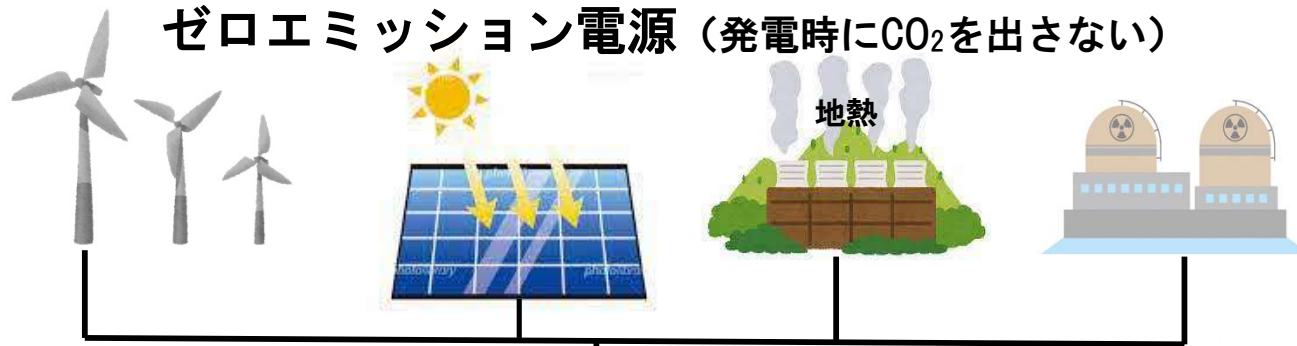
- 佐賀県上峰町が進める「まちづくりプラン」(2021年3月)と、九電グループが進める「カーボンニュートラルビジョン2050」(2021年4月)の実現に向けて、上峰町における「ゼロカーボン社会の共創」を目指した相互連携を強化します。
- 具体的には、太陽光発電など二酸化炭素を排出しないゼロエミッション電源を活用した九州最大級のEV充電パーク(100台程度同時に充電できる施設を目指す)の構築や、蓄電池を活用した災害時などの緊急時における電力インフラの強靱化などについて、双方が有する人的・物的・知的資源を有効活用し、上峰町の構想と地域特性を踏まえつつ、推進してまいります。

## 連携内容

- (1) 再生可能エネルギー等の脱炭素エネルギーの有効活用及び導入拡大に関すること
- (2) EVなど電気を活用したまちづくりに関すること
- (3) 蓄電池などを活用した災害時などの緊急時における電力レジリエンスの強化に関すること
- (4) 中心市街地活性化事業に関すること
- (5) 上記を始めとした「上峰町とのゼロカーボン社会の共創」の実現を契機とする、総合的取組みの推進に関すること

## (参考) ゼロエミ電力で蓄電、ゼロカーボン社会の実現へ(イメージ)

ゼロエミッション電源 (発電時にCO<sub>2</sub>を出さない)



コンセプト①

EV充電を再エネなどのゼロエミ電力で行う

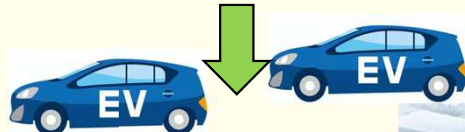
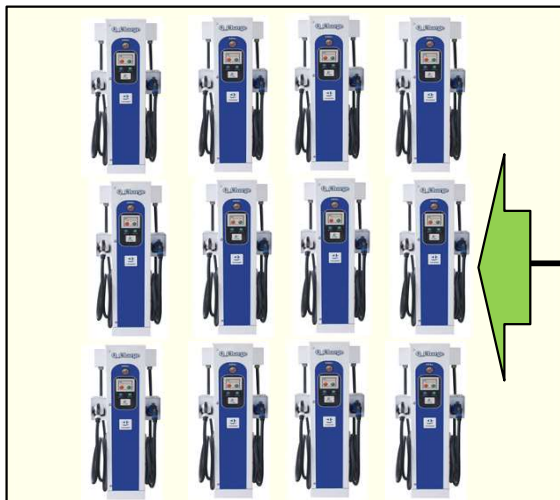
コンセプト②

再エネの不安定な出力をEV充電含む蓄電で調整し、需給運用に活用する

コンセプト③

太陽光発電の出力制御(余剰\*)をEV充電を含む蓄電に活用

九州最大級のEV充電ステーション

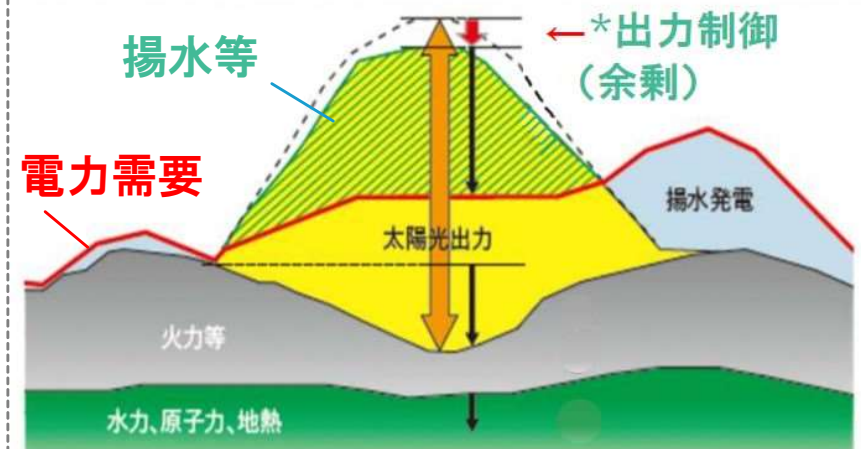


同一敷地内: 災害時も電力供給可能  
(レジリエンス機能)



つばきまちづくりプロジェクト

敷地内



晴天日の電力需給イメージ(横軸:時間)